



2021年2月1日

各位

上場会社名 ローム株式会社
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 CEO 松本 功
 (コード番号 6963)
 問合せ先責任者 取締役 上席執行役員
 財務担当 兼 経理本部長
 上原 邦生
 (TEL 075-311-2121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年10月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 340,000	百万円 23,000	百万円 23,000	百万円 19,000	円 銭 193.37
今回修正予想(B)	360,000	32,000	30,000	26,000	264.61
増減額(B-A)	+20,000	+9,000	+7,000	+7,000	-
増減率(%)	+5.9	+39.1	+30.4	+36.8	-
(参考)前期実績 (2020年3月期)	362,885	29,489	35,774	25,632	247.66

修正の理由

当第3四半期(2020年10月から2020年12月)において、新型コロナウイルス感染症は世界各地で蔓延が続き、マクロ経済環境は厳しい状況が続きましたが、エレクトロニクス市場は回復傾向が続き、ロームの売上についても自動車関連市場向けが急激な回復傾向を辿り、民生機器関連市場向けについても、想定より緩やかな季節調整となりました。加えてコスト削減も進んだことなどから、当第3四半期の業績は、前回予想を公表した昨年10月29日時点の予測を上回って推移しております。

第4四半期のエレクトロニクス市場については依然として不安定な状況ですが、現在のところ自動車関連市場向けなどを中心に好調な受注が続いております。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても売上増加などにより、昨年10月29日時点の予測を上回る見通しです。

以上のような状況を踏まえ、通期業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、第4四半期の為替レートは、1米ドル=105円を前提としております。

<業績等の予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上